

## 総評

国語はやや難しめでしたが、それ以外の教科は標準からやや易しめの出題で、平均点も標準からやや高めとなりました。

2年生になると、学習内容は一段と難しくなり、差がつきやすくなります。内申点では、1・2年生の成績が全体の7分の4を占めるので、今のうちに入試を見すえた具体的な目標を立て、目標に向かって頑張りましょう。

道コンなどの試験も、範囲が広くなるにつれ、入試に近い出題が増え、教科書内容をひとつお理解しただけでは高得点を得るのが難しくなってきます。基礎・基本の定着はもちろんのこと、今後はより入試に近い実践的な問題に挑戦し、慣れていく必要があります。今回の試験でよい成績だった人も、油断することなく、一層の実力アップにチャレンジしてください。

## 国語

やや難しい出題となりました。

㊦と㊧は、比較的よくできていました。㊨は、問四と問五の得点率がやや低くなりました。問五の書き抜き問題では、㉒に「確かな熱」と書く人が多くいましたが、㉑に入る言葉とのつながりを考えると、不適切な表現となります。それぞれの空欄に入る言葉を考えたうえで、全体として解答が適切かどうかを見直すようにしましょう。㉔は、問一と問四の得点率がやや低くなりました。論説では、問四のような「利点と欠点」を問う問題がよく出題されます。解答のまとめ方を確認しておきましょう。㉕は、問一と問二、問四の得点率が低くなりました。問一「主語の判別」や問二「発言部分の書き抜き」のような問題は、基本的な問題です。しっかりと復習をして、確実に正解できるようにしましょう。

## 数学

ほぼ標準的な難易度の出題でした。特別な難問はありませんが、㉑に得点率が50%を下回る問いもあるなど、意外な落とし穴があったのではないのでしょうか。

㉑は基本問題です。問1の(4)は、乗法に直したあとかけ算を間違えた人が多そうです。計算過程は問題用紙にメモしておき、見直しに役立てましょう。㉒の問2は、 $0 \leq y \leq 40$ とする誤りが多かったです。yは三角形の面積であることを忘れないように。㉓の問1は方程式の典型的な応用問題です。イの式を作るときの考え方は何通りもあるので、考えやすい方法を見つけましょう。

㉔の問2、関数の利用は近年の入試で頻出です。苦手意識を克服しておきましょう。㉕の問2(1)、全体をどんな立体と見るかをよく考えましょう。高さは底面に垂直にとります。面と辺の垂直を見定めましょう。

## 社会

やや易しい出題でした。

地理分野では、海洋や砂漠といった基本的な問題はよくできていましたが、㉑問3、㉒問5(2)などの資料を利用した問題の得点率が低くなりました。また、㉓問6(2)の得点率も低くなりましたが、この問題は、語句で答える問題だったら書けるけど、説明するとなるとはつきり書けないという人が多かったのではないのでしょうか。教科書の重要な語句については、語句を答えられるだけでなく、説明もできるようにしておきましょう。

歴史分野も基本的な内容はよくできていましたが、㉔問2(2)、㉕問6のような年代並べかえ問題で得点率が低くなりました。歴史分野は、できごとの前後関係やおおまかな流れをつかむことも大切ですので、年表などを利用して、歴史の流れを確認しておきましょう。

## 理科

やや易しい出題でした。

㉑と㉒の植物・動物の分類は、㉒問2が難しかったものの、全体としてよく出来ていました。基本的な内容に関する出題が中心でしたので、間違えたところはしっかりと復習してください。㉓は問5がやや難しかったようです。操作の結果と気体の性質をもとに、順を追って思考することが求められる問題でした。㉔は、問1(1)と問2(1)の基礎的な問題は理解している人が多かったようです。㉕問2(3)は、実験結果をもとに思考する問題で、決して易しい内容ではありませんでしたが、得点率が低くなりすぎず、しっかりと考えて答えを出せた人が一定数いたようです。1年の学習内容を復習する機会が多くありません、2年生の学習が本格化する前にしっかりと復習しておきましょう。

## 英語

やや易しい出題でした。

㉑のリスニングは比較的よくできていました。2年生になると単語や文法がこれまでよりも難しくなります。このまま得点できるようにしましょう。

㉒問3のCan you ~? 「~してくれますか」を使った空欄補充の問題では正答率が低くなりました。Can I ~? 「私は~できますか」との意味の違いに注意しましょう。

㉓は問1のwant to ~ 「~したいです」は英語でよく使われる表現です。間違えた人は必ず復習をしましょう。

㉔は比較的よくできていましたが、問3(1)(2)のような和文英作では、模範解答に近い形で解答できた人とそうではない人の差が見られました。単語や文法のミスなど、自分の苦手分野をそのままにせず、2年生の学習が進む前に復習しましょう。